

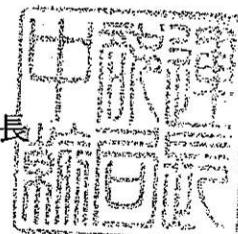


資料 4

中運企交第111号  
平成26年2月27日

長久手市地域公共交通会議 会長 殿

中部運輸局長



地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

地域公共交通確保維持改善事業実施要領に基づき実施した二次評価の結果を別添のとおり通知します。

調査事業 事業評価要約版(25年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
愛知	1	<p><b>長久手市地域公共交通会議</b></p> <p>長久手市は名古屋市の東側に位置し、人口は増加を続けている。公共交通網は、軌道系のリニモと民間の路線バスが、名古屋市内への移動に対応した路線網となっており、コミュニティバス(N-バス)が、市内を面的にカバーする路線網を形成している。利用者数は、近年は増加傾向にあるが、自家用車に過度に依存せず、利便性の高い公共交通サービスの提供が課題となっている。また平成21年10月に策定した地域公共交通総合連携計画は、平成25年度が計画期間の最終年度となるため公共交通に関する基本計画の策定のための調査を行う。</p> <p>市民アンケート調査を行い、市内の公共交通に関する利用特性や課題を整理し、連携計画の見直しの方向性をとりまとめ、地域公共交通会議で審議を行い、調査報告書を作成する予定である。調査報告終了後に生活交通ネットワーク計画の修正を行う。</p>	<p>市内アンケート調査により市内の公共交通に関する課題が整理され、連携計画の見直しの方向性の取りまとめがされるとともに地域公共交通会議で議論が進められています。説明内容はN-バス見直しのみでしたが、その他にも高く評価できる見直しが行われています。</p> <p>そうしたことから、今後は、愛知医大に乗り入れる路線の位置付けや民間バス路線との関係を十分考慮して路線網全体見直しの検討を行い、今後の生活交通ネットワーク計画に反映されることを期待します。</p>